

# わたしの 妊娠報告書

記載日 2022年8月22日

おめでた宣言日	2021年11月
年齢（29歳）	平成（27）年（9）月 結婚
私は（体外受精）	で妊娠しました。

不妊治療歴	（　　）年（　　）ヶ月
他院での治療歴	なし あり→内容（　　）
ASKAでの治療歴	
一般不妊治療	
<input type="checkbox"/> 自然排卵 タイミング法	（　　）回
<input type="checkbox"/> 排卵誘発 タイミング法	（　　）回
<input type="checkbox"/> 自然排卵 +人工授精	（　　）回
<input type="checkbox"/> 排卵誘発 +人工授精	（　　）回
生殖補助医療	
<input type="checkbox"/> DOST法	（　　）回
<input checked="" type="checkbox"/> 体外受精	（　　）回
<input type="checkbox"/> 顕微授精	（　　）回

## 妊娠の秘訣・心がけていた事

特に何気をつけて通院しているかありますか？

あまり気負わず、治療に向き合うようにしています。

また、忘れっぽい性格ですが、服薬や注射など忘れず確実にすること。

決まって通院日は必ず行くよう行事を調整するようにしています。

# わたしの 妊娠報告書

治療にまつわる苦労話し

## 治療内容

結婚後すぐに病気が見つかり、その治療の服薬のため妊娠ができない状態でした。そのため子どもはあまりめでててこなかったが、年齢的にもラストチャンスと思い、服薬を中断してASKAにみせ話をしました。服薬中止により病気の再発のリスクがあるため、できるだけ不妊治療(約かん時間)を短くするよう、早めに体外受精へ進む。ありがたいことに一度で妊娠することができました。

## その他（通院・治療費・家族など）

治療を始めた途端、治療費が想像以上にかかり驚きました。子どもを授かることがでて今となっては、やはりうれしい西直のあることをうなづいています。

## 治療中の方へのアドバイス

結婚直後から子宮病の治療のために、自分：女性があるのを知らないまま不妊治療を始め、タイミング法でやめたらという思いもありましたが、強くおこらせず、体外受精へ進むことは、子宮病・年齢といふ事情があるうちは良いかと見ていました。すでに出産を終えましたから、受精卵のときから知っているからこそ私が子が生まれていれば、また、我が子を見ると、元気な子はあまりめでてて私の体で育ち生まれてくれることが不思議でなりません。アドバイス：モチリませんか、スタッフへのご意見など リアル特殊なケースの私の想いを書き置いて下さいました。

中山先生、重富先生には、私の子宮病を踏まえて、最良の治療をして下さったと思ってます。感謝の気持ちでいっぱいです。

スタッフの皆さんはいつも丁寧に、親身にして下さり、安心して通えます。また、直接お会い可能な培養工の方々にも感謝をお伝えしています。ありがとうございました。